

2020 年度  
保健医療学部看護学科  
新入生アンケート結果

実施日時：2020 年 4 月 3 日（金）

実施場所：512 講義室

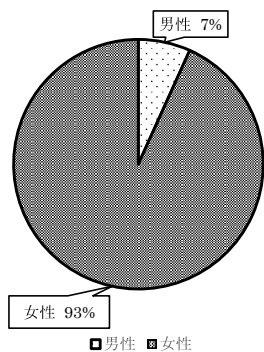
対象人数：2020 年度保健医療学部看護学科入学生 89 名

回収数（率）：89 名（100%）

【集計結果】

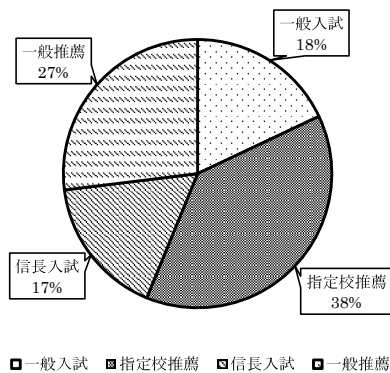
1 性別

男性	女性	無回答	計
6	83	0	89
7%	93%	0%	100%



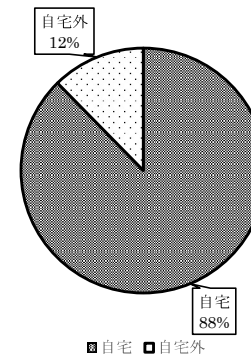
2 入試区分

一般入試	指定校推薦	信長入試	一般推薦	センター利用	計
16	34	15	24	0	89
18%	38%	17%	27%	0%	100%



3 住居

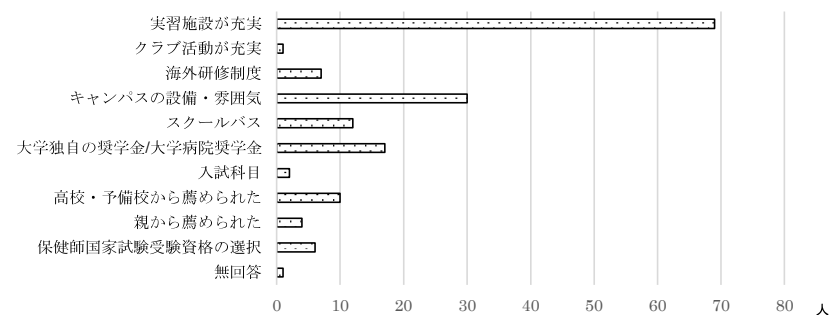
自宅	自宅外	計
78	11	89
88%	12%	100%



4 朝日大学への入学を決めた理由は何ですか。2つまで選んでください。

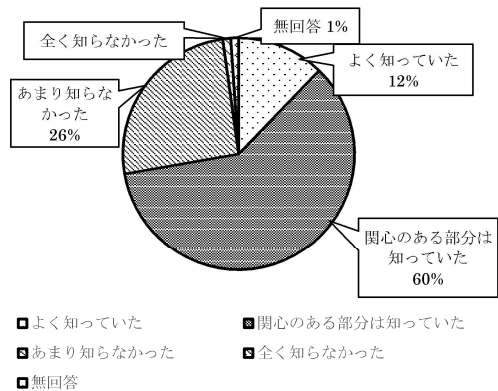
大学病院などの実習施設が充実	クラブ活動が充実	海外研修制度	キャンパスの設備や雰囲気	スクールバス	大学独自の奨学金/大学病院奨学金
69	1	7	30	12	17
78%	1%	8%	34%	13%	19%

入試科目	高校・予備校から薦められた	親から薦められた	保健師国家試験受験資格の選択	無回答
2	10	4	6	1
2%	11%	4%	7%	1%



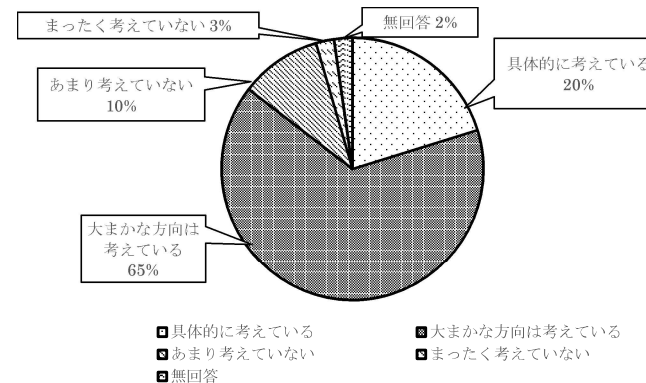
5 看護学科の教育内容について入学前から知っていましたか。

よく知っていた	関心のある部分は知っていた	あまり知らなかった	まったく知らなかった	無回答	計
11	54	23	1	1	89
12%	60%	26%	1%	1%	100%



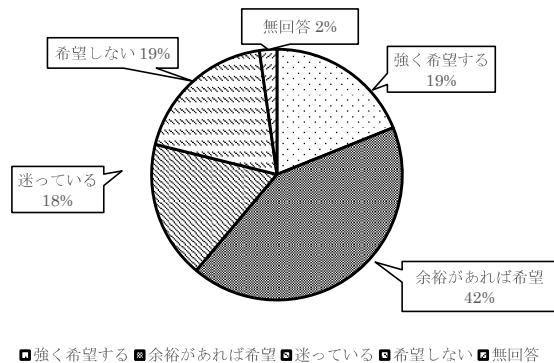
7 卒業後の希望進路（就職、助産師学校等への進学）は考えていますか。

具体的に考えている	大まかな方向は考えている	あまり考えていない	まったく考えていない	無回答	計
18	58	9	2	2	89
20%	65%	10%	2%	2%	100%



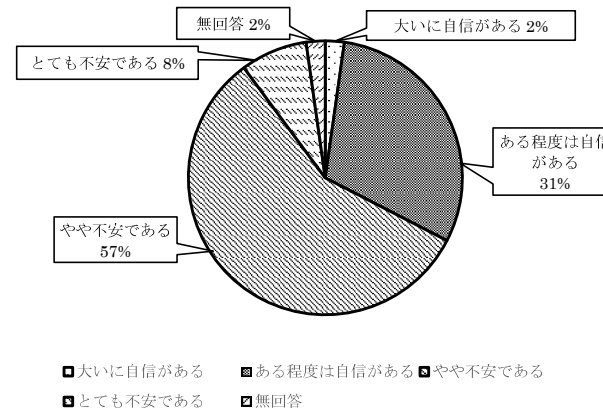
6 保健師課程の選択は希望していますか

強く希望する	余裕があれば希望	迷っている	希望しない	無回答	計
17	38	16	17	2	89
19%	42%	18%	19%	2%	100%



8 看護学科での学修について自信はありますか

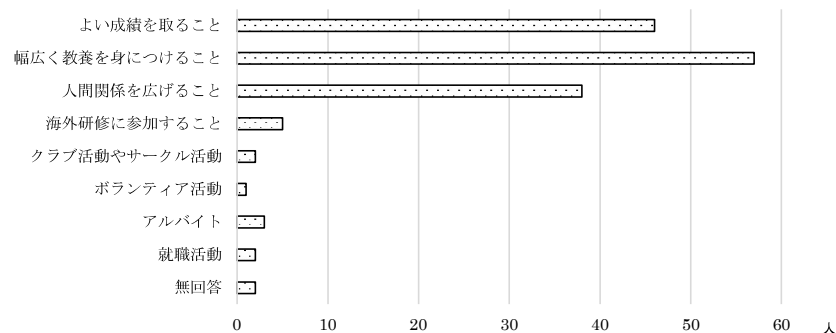
大いに自信がある	ある程度は自信がある	やや不安である	とても不安である	無回答	計
2	27	41	7	2	89
2%	31%	57%	8%	2%	100%



9 大学生生活で特に力を入れていきたいものは何ですか（2つまで）。

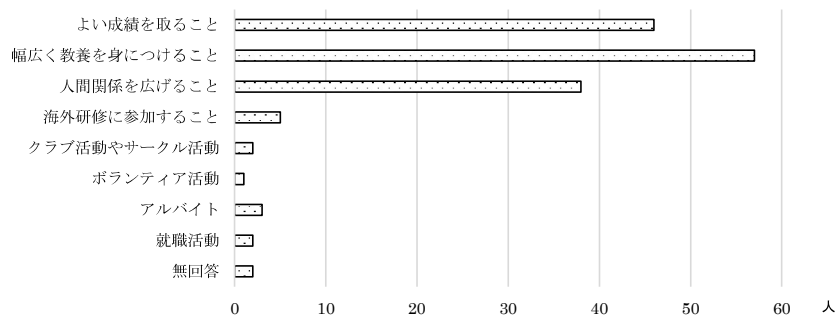
よい成績を取る こと	幅広く教養を 身につけるこ と	人間関係を広 げること	海外研修に参 加すること	クラブ活動や サークル活動	ボランティア 活動
46	57	38	5	2	1
52%	64%	43%	6%	2%	1%

アルバイト	就職活動	無回答
3	2	2
3%	2%	2%



10 教員に特に期待することは何ですか（2つまで）。

わかりやすい授業	勉強に関する質問 への丁寧な答え	学生生活の相談 に乗ってくれる	専門科目について 学修への興味を持 たせてくれる	臨地実習での丁寧 で的確な指導	無回答
63	47	13	16	24	2
71%	53%	15%	18%	27%	2%



【大学生生活について感じていることや要望（自由記述）】 なし

【まとめ】

〈男女比〉については、男子学生の割合が昨年度と同様に低く、新入生 89 名中 6 名（7%）となった。〈入試区分〉は昨年度と比較して、一般入試が 28%から 18%と減少し、一般推薦もやや低下、今年度入試から評定基準を外した信長入試による入学生が昨年度 2 名（2%）から 2020 年度は 15 名（17%）と増加した。指定校推薦はほぼ同率である。受験勉強を経験した学生が全体の 2 割弱ということは、4 年後の国家試験受験に向けた、日々の学修習慣の定着のための学修指導が重要となると考えられる。看護学科の学生の〈住居〉は例年大半が自宅であるが、今年度も自宅通学生の割合は 88%と高い。日常的な学修に加え、国家試験に向け教育懇談会などの機会を通じて、保護者に対する学生への支援を依頼する必要がある。

〈朝日大学への入学を決めた理由〉については、昨年割合が高かった「スクールバスがあって通学しやすい」が低下し、「キャンパスの設備や雰囲気が良い」が大きく上昇した。通学のしやすさより、大学の設備や雰囲気を重視する傾向は昨年とは異なっている。また、「高校や予備校で薦められた」「親から薦められた」割合もやや増えており、朝日大学保健医療学部看護学科が地域で定着しつつあることが窺える。「大学独自の奨学金制度や大学病院の奨学金が充実している」についても、昨年度よりやや増加していることから、大学病院も含め奨学金があることも大学選択のポイントとなっている。岐阜県内には 2020 年 4 月現在、看護学科を有する大学が 7 大学あるが、昨年同様に高い割合を示した「大学病院などの実習施設が充実している」こと、大学および大学病院の奨学金があることが、本学に入学を決めた理由として大きいと考えられる。

〈教員に期待すること〉としては、「わかりやすい授業をしてくれる」は昨年度と同率であるが、「臨地実習における丁寧で的確な指導」については 10 ポイント以上少ない結果であった。〈看護学科の教育内容について知っていましたか〉については、昨年とほぼ同じであった。全く知らなかった学生も昨年と同様に 2 名であった。多くの学生が教育内容をよく理解して入学しているとは言えない状況は昨年と同様である。〈大学生生活で特に力を入れたいこと〉に対して、「良い成績を取る」は 19 ポイント減であり、「海外研修の参加」もやや減少している。「幅広い教養を身につける」「人間関係を広げる」は昨年度と同率であるものの、学修に対する意欲が高いとは言えない状況である。「アルバイト」と答えた学生は 89 名中 3 名と少ないが、卒業時のアンケートでは多くの学生がアルバイトに力を入れたと回答している。〈看護学科での学習についての自信〉では、「大いに自信がある」「ある程度は自信がある」学生は 31%であり、昨年度より 10 ポイント増加し、「やや不安である」「とても不安である」と答えた学生は 65%であり、昨年度より 14 ポイント低下している。

この結果から、看護学科の授業や実習に対するイメージはあまり具体的ではなく、学修意欲は必ずしも高くはないが、学修に対する不安をもつ学生は例年より少ないという状況がうかがえる。その原因のひとつとして、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により入学前セミナーが中止されたことや、新入生オリエンテーションの簡素化が影響していることも考えられる。本学科はアドバイザー制度を有しているため、学生生活や学修について、アドバイザーを中心とした支援の強化が求められる。